

グローバル資本主義を超えて

主催：京都大学レジリエンス研究ユニット（ユニット長：京都大学教授 藤井聡）

後援：株式会社文藝春秋



「グローバル化は必ずしも望ましいものではない、むしろ様々な弊害を人類にもたらしている——」
こうした認識は、様々な人文社会科学者の中で急速に共有されつつあります。世界第一線の経済学者と人類学者と日本有数の気鋭の学者が歴史と伝統の街・京都に集い、「グローバル資本主義」を乗り越える方途を探ります。

エマニュエル・トッド (Emmanuel Todd：人類学・歴史学者)

1951年生まれ。フランスの人口学・歴史学・家族人類学者・経済学者。ケンブリッジ大学歴史学博士、パリ政治学院修了。現在、フランス国立人口学研究所に所属。人口統計による定量化と家族構造に基づく斬新な分析で知られる。2007年ユセフ・クルバージュとの共著『文明の接近』ではアラブ革命を予言。2002年の『帝国以後』は世界的なベストセラーとなった。代表的図書に「自由貿易は、民主主義を滅ぼす」、「自由貿易という幻想（共著）」。



ハジュン・チャン (Ha - Joon Chang：経済学者)



1963年生まれ。ソウル大学で経済学を学んだのち、英ケンブリッジ大学で博士号を取得。1990年よりケンブリッジ大学経済学部で開発経済学を教える。現在、同大学准教授。世界銀行、アジア開発銀行、国連貿易開発会議など多数の国際機関のコンサルタントを歴任。2005年、経済学の未開拓分野を切りひらいた者に与えられる「レオンチェフ賞」を、41歳の最年少で受賞し脚光を浴びる。代表的図書に「世界経済を破綻させる23の嘘」、「はしごを外せ—蹴落とされる発展途上国」。



藤井聡

(京都大学大学院教授・レジリエンス研究ユニット長・内閣官房参与)

1968年生まれ。専門は国土計画等、公共政策に関する実践的人文社会科学全般。近著に「レジリエンス・ジャパン 日本強靱化構想」、「経済レジリエンス宣言」、「強靱化の思想」など。



中野剛志

(評論家)

1971年生まれ。元京都大学大学院准教授。エディンバラ大学社会科学博士。近著に「TPP 黒い条約」、「反・自由貿易論」、「日本防衛論 グローバル・リスクと国民の選択」など。



柴山桂太

(滋賀大学経済学部准教授)

1974年生まれ。京都大学経済学部卒業後、同大学人間・環境学研究所博士課程単位取得退学。専門は経済思想、現代社会論。主な著書に「静かなる大恐慌」、「グローバル恐慌の真相（共著）」など。

12/2

参加費：2,000円 (昼食込)

日時 2013. 12/2 (mon) 10:00-17:30

場所 国立京都国際会館 (京都市左京区宝ヶ池)

プログラム

10:00～10:10 開会

10:10～11:00 講演 **藤井聡** ----- 「トータリズム (全体主義) としてのグローバリズム」

11:00～12:30 講演 **ハジュン・チャン** ----- 「経済学からのグローバル化批判」(仮題)

(昼食)

13:30～14:20 講演 **柴山桂太** ----- 「歴史は繰り返す? 第二次グローバル化の未来」

14:20～15:50 講演 **エマニュエル・トッド** - 「グローバル化の文化人類学」

(休憩)

16:15～17:05 講演 **中野剛志** ----- 「新自由主義と保守主義」

～17:30 質疑・クロージング

(18:00～ 懇親会 (6,000円・別途・buffet形式))

お申し込み方法 HPまたはFAXでお申し込みいただけます。

HPの場合は、<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp/tba/bgc>

グローバル資本主義を超えて

検索

FAXの場合は、下記に必要事項を御記入の上、FAX：075-383-3236 までお申し込みください。

① 御名前		
② 御所属		
③ 御連絡先	TEL:	/Mail:
④ 懇親会 (6,000円)	参加 / 不参加	※御代金は当日申し受けます